

企画展「妖しきものの棲む世界—妖怪・物の怪—」展

会期：2015年5月1日(金)～6月24日(水) [休館日：木、5月26日～31日]

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円 開館時間：午前10時～午後4時

先月に引き続き、暁斎一門の幽霊・妖怪画を展示しております。

100年の歳月を経た器物が変化した付喪神(つくもがみ)や、妖怪たちが練り歩く百鬼夜行、さらには鬼やガイコツまで、暁斎人気の画題をどうぞお楽しみください。なお、6月からは一部展示を替えて、錦絵「芝泉市(泉酒手長と手長猿と手長海老)」もご覧いただきます。

『暁斎百鬼画談』 明治22年(1889) 岩村俊発行 大倉屋孫兵衛取扱

版本『暁斎百鬼画談』は、暁斎が亡くなった明治22年の夏に出版されました。内容は、庶民が集まって怪談話をする「百物語」の場面に始まり、骸骨の軍団やさまざまな妖怪たちの軍団が対峙し、その後、器物が古びて妖怪になった付喪神など、妖怪たちの行列が続く絵巻物風に描かれています。出版された当時から現在に至るまで本書は人気が高く、2010年にはフランス国立国会図書館が所蔵する明治28年(1895)版が復刻・出版されました。今回の展覧会では、暁斎の影響を受けた例として、フランスの復刻版『L'histoire illustrée des Cent Démons par Kawanabe Kyōsai』のほか、画卷『暁斎百鬼画談』(作者不詳)もあわせて展示しております。



南小学校ひまわり学級(特別支援学級)

校庭のけやきの緑が鮮やかな季節となりました。新年度になり、ひまわり学級の子どもたちは、明るく元気に過ごしています。

今年のひまわり学級は、3月の卒業式で4人が蕨一中のけやき学級に進学し、1年生1人が入学、2年生、3年生、6年生の計7人でスタートしました。6年生はお兄さん、お姉さんという意識をもって、意欲的に取り組んでいます。

4月30日に、1、2年生と合同のこいのぼり集会に参加しました。晴天の中、屋上での開催となりました。まず、こいのぼりを披露しました。今年のこいのぼりは、胴体を青に塗り、ローラー遊びで絵具を塗り、それを鱗の形に切って、背びれと尾びれの模様を描いたものです。味のあるこいのぼりになりました。その後、2年生から、かぶととミニこいのぼりのプレゼントをもらったり、みんなで歌を歌ったりして、楽しいひとときを過ごしました。

交流遠足が5月7日にありました。昨年と同様、蕨市民公園へ1、6年生とともに元気に行ってきました。前半はアスレチック、後半はしっぽ取りゲームやじゃんけん列車をして楽しみました。雨が少なくほこりの中でしたが、皆、約束を守り元気に遊んでいました。お昼はお待ちかねのお弁当。からあげやウイナーなど大好物ばかりで何から食べようか迷っている子もいました。お母さんのキャラクター弁当もあって、子どもたちの思い出に残る一日になりました。

今年も6月から、子どもたちの大好きなプールが始まります。プールにひまわりの楽しそうな声が響きわたると思います。

地域のみなさまには、いつもひまわり学級を温かく見守っていただき、ありがとうございます。今後も、色々な場面でお力をお借りすることがあるかと思ひます。どうぞよろしくお祈りいたします。

保健センター 健康コラム

『野菜を1皿増やしてみよう!』

野菜はビタミン・ミネラル・食物繊維など体の調子を整えてくれ、低エネルギーなので食事の最初に野菜を食べておなかを満たすと、食べ過ぎ防止にもつながる優れたものです。一日に摂りたい野菜の目標量は350gです。これは小鉢5皿程度。1皿は70g。トマトなら半分の量です。一日350gと聞くとハードルが高いイメージですが実は結構食べられているものです。日本人の平均野菜摂取量は282g。あと1皿追加で目標達成です。これからの長寿社会を元気にイキイキ過ごすためにも、野菜の食べ方を見直して体の調子を整えましょう。和洋折衷の食生活ですから、具だくさんのお味噌汁や煮物、お浸しといった和食の技術で1皿増やすのもおすすめです。

お知らせ キャップ100個と花の苗1個を交換する「花いっぱいのもちづくり」が6月23日(火)午後2時半より南公民館ピロティで開かれます。